

令和6年度 「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」に関わる「共同利用型」の個人による研究 研究報告書

令和 7 年 4 月 9 日現在

研究課題名	ツルゲーネフ作品におけるライトモチーフについて	
申請者	氏名	所属機関・職
	中澤佳陽子	東京理科大学非常勤講師

研究成果の概要

申請者の研究課題は「19 世紀ロシアの作家ツルゲーネフが、長編小説『煙』（1967）においてライトモチーフによって登場人物の心理を描いたことを明らかにする」というものであった。ツルゲーネフ及びその作品『煙』に関する一次資料と二次資料、また音楽・文学におけるライトモチーフについて説明した資料を収集するという目的で、令和6年7月31日から8月3日までセンターを訪問した。北海道大学所蔵の19世紀の雑誌やヴェルナツキー文庫を閲覧することができたのは非常に有意義であった。

収集した資料を基に、「ツルゲーネフの『煙』におけるライトモチーフ」という論文を執筆中である。論文では、『煙』のモチーフ反復が、主人公の心理における半ば無意識的なものを表現していること、それがワーグナーの音楽作品におけるライトモチーフの機能と共通していること、またそのような技法を用いたことによって『煙』は後のモダニズム文学の先駆け的存在であるということを示そうとしている。論文のテーマに関しては「興味深い」という第三者の評を受けているが、論考に関しては難を指摘され、未だ改稿中である。（2024 年度発行の『スラヴ研究』の審査には通らなかったなので2025 年度発行版に向けて改稿中。）

主な発表論文等（雑誌論文、学会発表、図書 等）※謝辞の有無について明記願います。

当該研究活動をもとに採択された研究プロジェクト（応募中の研究プロジェクトを含む）

※枠を調整することは構いませんが、ページは追加しないでください。